

JA だより



—自然のぬくもりと暮らしたくて—

第65回 しずない農業協同組合通常総会

枝 コミュニケーション

自然のぬくもりと暮らしたくて



第65回 しずない農業協同組合通常総会開催

第65回 しずない農業協同組合通常総会開催

全5議案原案通り可決される



痕は深く、復興への道筋は容易なものではなく、未だに不自由な生活を送られている被災者の皆様には心よりお見舞いを申し上げるところであります。

JAGグループは、今後も被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けて参ります。

国内においては、昨年12月民主党政権下で初の衆議院総選挙が行われましたが、「日本経済再生」を掲げた自民党が大勝利、3年ぶりに政権与党に返り咲いたところです。安倍首相が掲げた「財政支出」「金融緩和」「成長戦略」の3本の矢、いわゆる「アベノミクス」に市場は敏感に反応し、円安・株価回復など一定の成果を挙げていることから、高い内閣支持率を得ているところです。

このようなか、**「聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加には反**

4月10日、新ひだか町公民館において「第65回 しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。
冒頭挨拶において、片岡禹雄代表理事組合長より「東日本大震災発生から早2年が経ちますが、震災の爪

対一との公約を掲げていたにも拘わらず、安倍首相は3月15日「TPP交渉参加」を表明致しました。

関税撤廃を原則とするTPPにおいて、米をはじめとした重要品目を例外とする保証もなく、また、国民的議論もなされないまま交渉参加表明をしたことに強い憤りを感じるところです。

経済成長と引き替えに生命の源である食料を他国に委ねることは断じて許されるものではありません。今後JAGグループの一員として、関係団体と連携し、TPP交渉参加断固反対運動を続けて参ります。

当JAにおける昨年度の農畜産物の取り扱いについては、17億5000万円の計画に対し、1億9000万円増の19億4000万円となり過去最高の取扱高となりました。そ菜の主力であるミニトマトにおいては、安定出荷、契約販売などにより7億1430万円となり、2年連続して7億円の大步となりました。生産者の長年にわたる品質向上と安定供給への取り組みが実を結んだものと敬意を表するところであります。また、複合作目として奨励してきた黒毛和牛は、販売計画対比5600万円増の4億2800万円となりました。

母体である新ひだか町静内和牛生

産改良組合は、本年2月に設立10周年を迎えました。この間、生産者のたゆまぬ努力と関係機関のご支援、ご協力に深く敬意を表するところであります。

今後も複合作目としてミニトマト、黒毛和牛の生産拡大を図り、農家経営安定化に向けて取り組んで参ります。

ホッカイドウ競馬は、昨年80日間の開催を終え、販売額は計画対比100・1%、前年対比103・7%の119億9987万円となりました。競馬を取り巻く環境が極めて厳しい中、Aiba祭の開催など関係機関・団体の特段のご協力、ご支援の賜物であり、深く感謝を申し上げます。次第であります。

ウインズ静内の閉鎖、地方競馬の廃止など一層厳しい環境が続く中ではありますが、日高の基幹産業である軽種馬産業にとりましてホッカイドウ競馬の安定的な開催は不可欠であります。本年度のホッカイドウ競馬は4月24日より開催されますが、Aiba静内も移転により、より利用しやすくなっております。昨年にも増して一人でも多くの方が足を運んで下さることを切にお願いを申し上げます。次第であります。

農業担い手確保については、昨年度より行政と手を携え、新規就農及

び後継者対策事業に取り組んでいるところであり、農家での研修生の積極的な受け入れと農業後継者の育成を図り、農業担い手の確保に取り組みますので、組合員皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

J A事業については、円高、デフレ経済による収益率の低下、投資意欲減退などの影響を受け、収益の柱である信用事業利益が伸び悩みましたが、販売取扱高の増加、事業管理費をはじめとした経費抑制により、税効果会計による利益を除いた、実質3740万4000円の未処分利益剰余金を計上することができました。

組合員各位には、厳しい農業経営の中、J A事業をご利用、ご協力を頂いた結果であり、感謝とお礼を申し上げます。

また、健全性を示す自己資本比率は、前年比0.16%増加し、10.68%となりましたが、健全なJ A経営のためには、更なる自己資本造成に取り組みで参らなければなりません。今後とも、内部留保を優先し、自己資本造成に取り組みで参りますので、特段のご理解をお願い申し上げます。

3 J Aによる合併協議については、地区別懇談会でも説明をさせて頂

たところですが、24年度は主に地域農業振興や経営基盤強化の方策の検討をして参りました。本年度も継続して、J A合併による経営基盤強化の方策及び地域農業の振興方策等の研究検討を進めて参りますので、組合員各位には特段のご理解をお願い申し上げます。

24年度の事業報告並びに25年度の部門別事業の事業方針・事業計画等につきまして、お手元の総会参考資料の中に記載しておりますが、本年度は、円安による原油高、農業諸材料の値上がり、電力不足など先行き不透明な要素を数多く抱えております。このような環境の中、地域農業振興・J A財務の健全化を図るため、更に努力をして参る所存でありますので特段のご理解、ご支援をお願いするところであります。」と挨拶がありました。

議長には、有田英二氏、中田浩美氏が選任され、上程された5議案全てが原案通り可決となりました。

その後、小倉正信営農経済部門専門委員より「TPP交渉参加断固反対並びに北海道農業確立に関する決議（案）」が朗読され、出席者全員で参加反対決議を致しました。

理事会報告

12月理事会（27日）

- 一、長期資金の貸付について
- 二、理事者に対する短期資金の貸付及び平成25年クミカン取引について

1月理事会（18日）

- 一、平成25年度基本方針と重点実施事項について
- 二、日高3 J Aの合併に向けての取組方針について
- 三、平成25年度借入金の上限度額について
- 四、平成25年度貸付金利率の上限度額について
- 五、平成25年度信用供与等の上限度額について
- 六、平成25年度理事者に対する貯金担保貸付及び共済担保貸付の具体的包括承認について

1月理事会（30日）

- 一、長期資金の貸付について
- 二、平成24年度決算見込みについて
- 三、固定資産減損会計について
- 四、資産査定基準（資産査定要領）（案）の見直しについて
- 五、規定類の新設及び改定について
- 六、出資金の減口について
- 七、債権の償却について

2月理事会（27日）

- 一、平成24年度事業報告及び未処分利益剰余金の処分（案）について
- 二、繰延税金資産の回収可能性について
- 三、平成24年度の自己査定結果について
- 四、平成25年度事業計画（案）について
- 五、平成25年度固定資産の取得（案）について
- 六、平成25年度役員報酬について
- 七、平成25年度職員の見直し及び職員給与の改定（案）について
- 八、平成25年度余剰金の預入先について
- 九、平成24年度内部監査結果報告及び平成25年度内部監査計画について
- 十、平成25年度コンプライアンスプログラム計画について
- 十一、定款の改定について
- 十二、規定類の改定について
- 十三、出資持分の譲渡について
- 十四、定年退職者に対する特別加給退職金の支給について

3月理事会（21日）

- 一、平成24年度決算監査の実施結果について
- 二、長期資金の貸付について
- 三、従業員就業中災害補償規定について
- 四、代位弁済履行に伴う特別出資金（外部出資）の拠出について
- 五、債務保証委託申込に伴う出資増口（外部出資）について
- 六、出資持分の譲渡について
- 七、第65回通常総会議案（決算関係書類及び部門別損益計算書）について
- 八、第65回通常総会招集通知について

将来は法人経営を目指して！

最初にご紹介するのは、本沢地区の中道雅則さんから研修を受けている竹田均（ただけだ ひとし）さんです。



就農を目指して、長野県にあるハケ岳中央農業実践大学院に通っていた当時、先生からトマトの魅力を説かれ、そのことが印象深く残っていた。ことから全道でも指折りのミニトマト産地である静内を選んだという竹田さん。「今は、日の出とともに一日が始まり、日没とともに一日の仕事が終わります。以前までの生活と違い、健康的で充実した毎日を送れていることを実感しています。」と話し、「早く色々な技術を自分のものにして自立したい。また、これは今すぐにはいきませんが、自らが経営者となったときには、法人経営を目指していきたいです。」とこれからの意気込み、そして、将来の目標について話してくれました。

「一日でも早い自立を目指して

次に豊畑地区の村田信治さんから研修を受ける佐々木知彦（ささきともひこ）さん・さとみさんのご夫婦をご紹介します。



就農を目指すことを一つの区切りとしてご結婚したお二人は、農作業に必要な大型特殊・大型二種・けん引免許を取得し、研修・就農に向け準備していたそうです。

佐々木さんご夫婦も先程紹介した竹田さんと同じく、就農する際には、トマト栽培を主とした農家を希望していたことから、北海道農業担い手センターから、紹介を受け、静内で研修することとなりました。

休憩中にごのお話を伺ったこともあり、村田さんご家族も交えてのインタビュとなりましたが、笑いが絶えず、あくまでも指導する側と指導を受ける側という立場ではありますが、お互いが既に関係を築いていることを垣間見ることができました。

今後の抱負について「研修先にも恵まれ、しっかりと勉強して、一農家として自立できるよう頑張っていきたい。」と知彦さんは話し、それに対し村田さんからは「全てを細かく教えることはできないから、盗めるものは、見てごんごん盗んでいって欲しい。」とご夫婦に言葉をかけていました。

新ひだか町農業の新たな力として



昨年度から新ひだか町・JAしずない・JAみついしの3者による新規事業としてスタートした「農業チャレンジャー支援対策事業」「がんばる！農業サポート事業」を活用して、今年度は新たに3組が研修生として実習を始めました。今回はその3組をご紹介します！

良い縁を大切に

「僕たちに話を聞いても、あんまり良い記事にはならないと思いますよ。」と遠慮がちに話し始めてくれたのは、東別地区の大江孝之さんから研修を受けている川戸瑞樹（かわと みずき）さん・理（あや）さんご夫婦です。

以前は、東京で広告関係の仕事をしていた川戸さんの人生の分岐点となったのが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災でした。「奥さんが出産間近で、そんなときに地震が起こり、福島第一原発での事故がありました。これから生まれてくる子どもや家族への影響、生活していく環境のことを考え、東京からの「移住」という選択をしました。」

その後は、奥様の親戚を頼りに渡島管内の森町に移り住み、生活の中で、ご親戚の家庭菜園を手伝ったことが印象に残り、札幌市で開催された「新・農業人フェア」へ足を運ぶこととなりました。



「そこで中道さんに背中を押され、これも良い縁だと思って、お世話になることを決めました。だから、農業に対して大きな熱意があつてというわけではないので、だから…」と冒頭の一言へと続いていきます。

そんな言葉とは裏腹に農業の奥深さや魅力を話す姿は熱意に満ちていました。最後に「今は農業に関する様々なことを教えてもらうことができる貴重な時間。この貴重な時間を無駄なく過ごしていきたい。」と今後の抱負で締めくくって頂きました。

黒毛和牛素牛市場販売成績

(平成25年2月市場～4月市場)

今年に入り、静内産黒毛和牛素牛は好調な取引が続いており、特に4月市場では、去勢・めすともに平均価格、最高価格が高い水準での取引となっています。(※取引市場については、いずれも宍平町・ホクレン北海道市場でのもの。)

2月市場 (2月6日開催)

販売頭数 87頭 (去勢 53頭 めす 34頭)
 販売金額 40,870,200円 (去勢 27,287,400円 めす 13,582,800円)
 平均価格 469,772円 (去勢 514,857円 めす 399,494円)
 最高価格 去勢 686,700円 (川合地区 富岡弘さん販売)
 めす 542,850円 (浦和地区 有八田牧場販売)

3月市場 (3月7日開催)

販売頭数 70頭 (去勢 36頭 めす 34頭)
 販売金額 32,440,800円 (去勢 18,751,950円 めす 13,688,850円)
 平均価格 463,440円 (去勢 520,888円 めす 402,613円)
 最高価格 去勢 612,150円 (川合地区 橘章さん販売)
 めす 493,500円 (川合地区 富岡弘さん販売)

4月市場 (4月4日開催)

販売頭数 77頭 (去勢 43頭 めす 34頭)
 販売金額 37,473,450円 (去勢 22,907,850円 めす 14,565,600円)
 平均価格 486,668円 (去勢 532,741円 めす 428,400円)
 最高価格 去勢 655,200円 (東別地区 藤村英治さん販売)
 めす 585,900円 (豊畑地区 宮本善悟さん販売)

平成25年度 産業振興奨励事業について

平成25年度の産業奨励事業について、以下の通りご案内致します。

なお、今年度につきましては、「3.自給粗飼料生産基盤強化対策事業」及び「4.黒毛和牛生産基盤確立対策事業」において、補助対象が拡大されておりますので、内容のご確認をお願い致します。

1 高品質米生産安定対策事業

対象作物…水稲

対象資材…有機肥料（有機885・有機150・有機260）及び土壌改良材（ケイカル・ケイカリン）

事業費…6,219,630円

補助額…1,760,000円（JA補助28.3%）

2 施設野菜等長期生産体制整備事業

対象作物…ミニトマト、トマト、きゅうり、ピーマン、ほうれん草、イチゴ、メロン、花卉

対象資材…ハウス施設及びハウス附帯設備

（ハウス100坪、二重カーテン、遮光ネット、ボルナドファン、ボイラー10万kcal）

事業費…11,676,000円

補助額…1,946,000円（JA補助16.7%）

3 自給粗飼料生産基盤強化対策事業

対象作物…牧草

対象資材…土壌改良材（炭カル・ヨーリン）、除草剤（ラウンドアップ乳剤・アージラン乳剤・ハーミニー水和剤）

対象作業…ブラオ、整地（プル使用）、ディスクハロー、グラスシーダー、鎮圧ローラー

土壌改良材・除草剤負担区分

事業費…6,890,900円

補助額…1,723,000円（JA補助25.0%）

作業機械負担区分 ※1戸当たり上限3ha以内

事業費…5,805,000円

補助額…1,451,000円（JA補助25.0%）

4 黒毛和牛生産基盤確立対策事業

対象作目及び補助内容

(1) 繁殖素牛…①平成25年1月31日現在、12ヶ月齢以上の繁殖牛59頭以下の飼養農家を対象とする。

②一戸当たり、単年度対象頭数は5頭以内とし、飼養繁殖頭数が59頭に達する場合は、その範囲内とする。

③1頭当たりの補助対象限度額は400千円以内とし、補助額は1頭当たり120千円以内とする。

(2) 自家保留牛…①平成25年1月31日現在、12ヶ月齢以上の繁殖牛59頭以下の飼養農家を対象とする。

②飼養する繁殖牛の産子で、別に定める審査会で承認を受けた雌牛とする。

③一戸当たり、単年度対象頭数は5頭以内とする。

④補助金額は、1頭当たり150千円とする。

事業費…9,250,000円

繁殖素牛…600,000円

自家保留…2,625,000円

5 施設園芸作物生産向上対策事業

対象作物…施設園芸作物

対象資材…有機堆肥（パーク堆肥ヒダカノキセキ）

事業費…1,896,000円

補助額…442,000円（JA補助23.3%）

融資課から
のお知らせ

**JAフルスペックローンは比較的小口の
設備投資に対応する資金で農業経営をご支援します!**

- 農機具の購入、修理・点検費用に
- ビニールハウスの資材・設置費用に
- 農機具格納庫の建設費用などに
- JA以外から借入している農機具資金の借換に

1. JAフルスペックローン商品概要

● **ご利用頂ける方**

- ① 農業を営む個人・法人（当JAの正組合員に限ります。）
- ② 農業を営む個人・法人（当JAの正組合員に限ります。）が出資もしくは構成している団体または法人

● **ご融資金額**…事業費の範囲内とします。

● **ご融資の利率**…当JAの定める利率とします。

● **ご返済期間**…1年以上10年以内とします。（原則、耐用年数以内）なお、後継者が就農している場合を除き、最終償還日の年齢が満72歳を超えることはできません。

● **担保保証人**…原則、無担保・無保証人とし、北海道農業信用基金協会の保証（保証料はお客様負担となります）をご利用頂きます。なお、法人経営（団体を含む）の場合は、構成員（株主または出資者）の個人連帯保証が必要となります。※ご融資金額の状況によって、担保いただく場合があります。

2. ご融資までの流れ

必要な書類をご用意→お申込み→JAで審査→貸付の決定→ご融資に係る関係書類の作成→ご融資
※審査の結果、ご希望に添いかねる場合もございますので、予めご了承願います。

問い合わせ先 JAしずない経営融資部融資課(担当：鈴木) TEL 42-1051

共済課から
のお知らせ

**火災や落雷など、もしもの災害に備えて
住まいや家財を守る「火災共済」のご案内**

住まいと家財を幅広く保障します



火災以外の損害も幅広く保障します



「火災共済」では、上記損害に対する保障に加え、他にも様々な保障が受けられます。ご加入をお考えの方、詳細等に関しましては、以下までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 JAしずない金融部共済課 TEL 42-1051

ホッカイドウ競馬



News Vol. 1

今年もホッカイドウ競馬の季節がやってきました！
今月24日からスタートしたホッカイドウ競馬では、
早くも白熱したレースが繰り広げられ、また、来月からは
地元から更に盛り上げるべく、毎年恒例となるAiba祭も開
催されます。今年も大いにホッカイドウ競馬を楽しみましょう！

平成25年度 ホッカイドウ競馬 開催日程

4月	22	23	24	25	26	27	28	29	30	9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
<p>★ホッカイドウ競馬門別ナイター開催日</p> <p>◇即PAT発売日(◆全レース ◇17:11まで)</p> <p>●南関東競馬発売日</p> <p>■JRA発売日</p>	<p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p>																		<p>10月</p> <p>11月</p>																					

Aiba祭 開催日程

5月8日(水)・6月5日(水)・7月10日(水)
8月7日(水)・9月10日(火)・10月15日(火)
11月6日(水)

※カレンダーの●印はAiba祭開催日

新入職員紹介

今年度当JAに新たに3名の新入職員が入組致しましたので、ご紹介させていただきます。

抱氏名 **中田 裕也**
なかつ ゆうや



一日でも早く組合員皆様の力になれるよう、早く仕事を覚え、また、努力していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

抱氏名 **久坂 彩萌**
ひささか あやめ



これから大変なことが多いと思いますが、早く仕事を覚えていきたいです。一生懸命頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

抱氏名 **一ノ瀬 峻太**
いちのせ しゅんた



まだわからないことは沢山ありますが、仕事を早く覚え、小さい仕事でも精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

おつかれさまでした

退職職員

経済部燃料課長 2月28日付

前崎 進

(勤続年数33年3ヶ月)